

活動報告書

報告日付:2020年5月15日

事業ID: 2018489976

事業名:佐賀県唐津市における
第三の居場所の運営

団体名:特定非営利活動法人 博心館

事業完了日:2020年4月30日

1.事業内容

第三の居場所の運営

(1)期間:2019年4月1日～2020年4月30日

(2)場所:佐賀県唐津市

(3)内容:生活困窮世帯等の児童を対象に、生活習慣や学習の支援を行う。手作りの食事の提供やスタッフと児童の信頼関係の構築、教科学習の習慣化、生活習慣の形成を図る。

2.事業内容詳細:

平日、当館を利用する児童に対しては、宿題に関する学習指導・支援を行った。また非認知能力育成の為に、「論語」「実語教」「童子教」等の古典学習、イソップ童話の読み聞かせ、コグトレを通して集中力の涵養、ライオンズクエストを通してコミュニケーション能力の向上にも努めた。

時間的に余裕がある土曜日や長期休みの期間中に、屋外活動にも力を入れ、社会(企業)見学、農業体験、人形浄瑠璃の体験等、児童が直接目にし、手に触れ、興味・関心を持たせる事業を取り入れた。

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

1. 拠点利用児童の募集(2018年11月末日時点で21名が登録しているところ、2019年度9月末時点で25名、年度末迄に30名とする)
2. 上記の登録児童の3分の1程度を行政・学校からの被紹介者や公的扶助の受給世帯等、特に支援が必要な家庭の児童とする。
3. 児童への居場所、学習支援、食事などの安定的な提供
4. ボランティア等の地域住民や行政、学校との関係構築による運営の持続性の向上

【目標の達成状況】

1. 2019年度9月末時点で登録児童数43名、内事業対象児童数12名、一般利用児童数31名だった。拠点利用児童の総数は目標を達成したが、事業対象児童数は目標の1/3にならなかった。2019年度9月末時点から年度末時点での児童数の変動はなかった。
2. 登録児童の3分の1程度を、行政・学校からの被紹介者や公的扶助の受給世帯等、特に支援が必要な家庭の児童としていたが、若干及ばない結果となった。
3. 児童への居場所、学習支援の安定的な提供については、問題なく提供できた。食事の安定的な提供については、新型コロナウイルスによる休校を期に利用者が増加し、毎日15食程の昼食を提供している。保護者の反応は良好なものと認識している。
4. 地域住民と協力して子ども達を見守り育てることが事業モデルの一目録であり、ボランティアで参加してくれる住民も増え、この理念が受け入れられていると考えている。

1.事業内容:

車両の配備

車種:日産セレナ

対象:拠点に通う児童や関係者

目的:お迎えの難しい家庭へのサポートや対象校区の拡大による利用児童の増加など

2.事業内容詳細:

当団体事業には、現在47名の児童が入所しており、主な対象校区は、A小学校とB小学校である。現在は理事長所有の普通車両を無償提供いただき、送迎を行っている。

拠点では児童の帰宅時に保護者が拠点に迎えに来ることを定めているが、様々な事情により保護者のお迎えが難しい家庭も多く、利用につながらない原因の一つにもなっている。拠点に車両を配備することによって、お迎えの難しい家庭へのサポートや、対象校区の拡大(C小、D小、E小)による利用児童の増加を目指したい。

3.契約時事業目標の達成状況:

(1)受領車種名:日産セレナ

(2)納車・検収日:2020年4月13日

(3)車両の写真:下記添付

(4)活用方法

お迎えの難しい家庭へのサポートや対象校区の拡大による利用児童の増加など

車両画像2点

